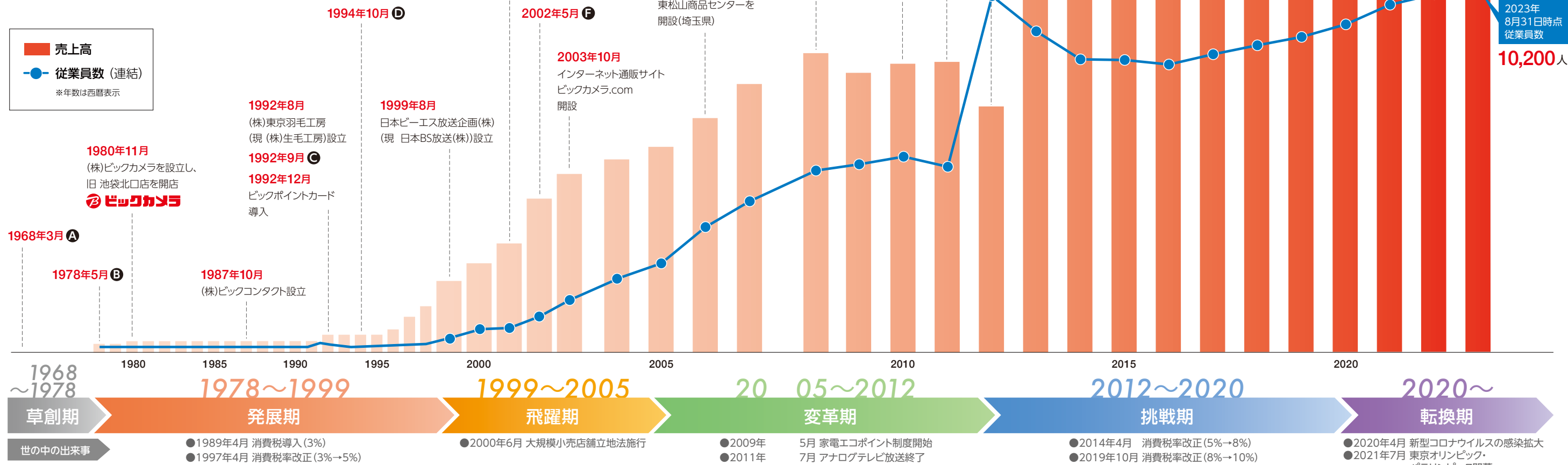


価値創造ストーリー

価値創造の軌跡

ビックカメラは「お客様喜ばせ業」を体現すべく、企業理念である「専門性と先進性で、より豊かな生活を提案する進化し続ける“こだわり”の専門店の集合体」を追求します。創業より時代の変化やお客様の要望に応えるべく進化させてきたビックカメラの強みにさらに磨きをかけ、お客様に信頼され、あてにされる企業であり続けることで、ステークホルダーの皆様に価値を提供していきます。



お客様第一主義の実践・変化対応

時代の変化やお客様の要望に応じて取扱商品を拡充

- A** 1968年3月 群馬県高崎市で写真フィルムの現像所「高崎DPセンター」を設立。お客様の「早く写真を見たい」という要望に応えるべく、スピード仕上げサービスを提供。
- B** 1978年5月 池袋北口でカメラおよび関連商品の販売会社として創業。写真の現像だけでなく、カメラ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、テレビなどお客様の要望にあわせて関連する商品の取り扱いを拡充し、時代の変化に対応。



当時の池袋北口店

豊富な品揃え“専門性と先進性”

「こだわり」の専門店の集合体として、さらなる品揃え

- C** 1992年9月 池袋本店の開店に際し非家電商品のスポーツ用品(ゴルフ・テニス)、おもちゃ、寝具などの取り扱いを開始。専門性追求の一例として、寝具を扱う生毛工房では、より豊かな眠りの環境を創造したいという想いから、原毛をポーランドから直接輸入。生毛ふとんはグースダウンを95%使用するこだわりの商品を提供。



寝具売場

拡充に挑戦

- D** 1994年 パソコン需要の高まりに早くから着目し「ビックパソコン館」を設立。ビックカメラ内のパソコン販売部門を強化、販売員のスキルアップ教育などを行う。



携帯電話の流行を予見するパソコン館本店の外観

ビックカメラのビジネスモデルを体現

「都市型」×「ターミナル駅前」×「大型」の店舗を展開

- E** 2001年 立川店、なんば店、有楽町店、札幌店と店舗面積10,000㎡級の大型店を1年に4店舗開店。
- F** 2002年 新宿西口店開店。2001年開店の大型4店舗とあわせて「都市型」×「ターミナル駅前」×「大型」の現在のビジネスモデルの礎を築く。
- G** 2012年には当社最大級の新宿東口店を開店。ビックカメラ×ユニクロの異業種コラボ「ビックロ」として、家電とファッションを組み合わせた革新的な店舗を出店するなど、お客様に驚きとワクワクを提供するべく進化を続けてきた。



有楽町店



新宿東口店 (旧ビックロ)